

命の音

那覇市立小祿小学校 五年

大城 裕世

ザーザーザー シトシトシト
ザーザーザー シトシトシト
ぼくは今、平和と命のことを
机に向かって考えている

外は大雨 やむことなく降り続けている
ザーザーザー ザーザーザー
降り続く雨音 思わず思考が止まる

六十九年前 その音はどんなだっただろう
ウーウーウー ドカンドカン

サイレン? 爆発音?
バンバンバン キャー シクシクシク
銃声? 悲鳴? 泣き声?

きつと
おそろしく悲しい音がひびいていたにちがいない
ない

ウーウーウー ドカンドカン
バンバンバン キャー シクシクシク
ぼくは暖かいふとんの中で

大好きな野球をしている夢をみる
六十九年前 ぼくと同じ年の子は
どんな夢をみていたのだろう
ゆっくり眠る夢なのか

温かいお風呂に入る夢なのか
おなかいっぱい食べる夢なのか
それとも

戦世が終わる夢だったのか
ザーザーザー シトシトシト
ザーザーザー シトシトシト
僕は心が痛くなった

暖かいふとんでゆっくり寝れること
好きな野球について考えることができること
しずかに 雨音が聞けること

ぼくの命はあの戦世を生きぬいた
じいちゃんたち ばあちゃんたちが
つないでくれたもの

今の平和は

戦世で犠牲になった人たちの命が
つないでくれたもの

ぼくはつなぎ続けたい

つなぎ続けたいといけない

多くの命がつないでくれた

ぼくたちの命

そして 平和

雨音聞ける「今」を

しっかり守っていきたくと思う

ザーザーザー シトシトシト

ザーザーザー シトシトシト

この静かであたたかな命の音を